

卒業生リレー寄稿 ⑨

「2度目の卒業式」



武田久美子

昭和50年3月
専攻科衛生看護科卒

さわやかな風を感じるこの季節、「香友会だより」に寄稿させて頂いた機会を頂きました。感謝いたしております。私は昭和50年3月に専攻科を卒業し、38年間看護師として高松市民病院に勤務致し、平成25年3月末をもって退職いたしました。長い看護師生活を支えてくれた原点は高松南高等学校で学んだ5年間にあります。

高い志をもって臨んだ学校生活ではありませんでした。卒業時には「看護とは何か」と自分に問えるだけのものを、身につける事が出来ました。すべては熱心にご指導頂いた先生方の熱意の賜物と感謝いたしております。

当時私は看護科の5期生で1期生の方が就職し、学校での教育が現場で試されるという段階でした。今になって思えば、先生方は高校

における看護師の養成という、新しい取り組みに非常に苦労されたのでは無いかなと思います。当時も今も看護師不足で、現場では即戦力となる看護師が求められていました。また学校内では、校外実習のある看護科に対する理解不足もあったように聞いています。校内外からの評価は、厳しいものがあつたことでしょう。でも学んでいる私たちは、そのようなことに頓着せず、他科の学生とも自由に交わり多様な学生生活を送る事ができました。これも単に看護師養成が目的でなく、高校と専攻科を通じて全人的な教育が行われたからこそその成果だと思います。

私はこの3月に卒業する専攻科2年生の方に祝辞を述べるという光栄な機会を得る事が出来ました。

私にとつても、自分の勤めた病院を退職するという2度目の卒業式にのぞむ思いで、自分の気持ちを込める事ができ、感慨深い式でした。看護師は死ぬまで看護師で有り続けなければいけないというのが私の気持ちです。例え現場に居なくても、自分の知識、技術、看護する心を持って社会と何らかの繋がりを持ちたいと思っています。

今後、益々重要性を増す看護職の育成に、南高看護科は大きな役割を担い、またそれを果たしてこられました。それは先生方や先輩方、また後に続いて活躍して下さっている頼もしい後輩の方々の努力の賜物にほかなりません。2度目の卒業式を終えた私ですが、母校の今後の益々のご発展を心から祈念いたしております。

「高松南高時代をふりかえって」

岩瀬 明美
(旧姓細谷)昭和45年3月
普通科卒業

私は昭和45年度の卒業生で、今年62才になります。南高の3年間は、あつという間でした。

友人にも恵まれ、笑い笑いの学生生活でした。南高は、学科が多く勉強中にトラクターの音、牛の鳴き声も聞こえていたと思います。のんびりとした学校でした。私にピッタリの学校だったと思います。

1年生の時バレー部に所属し、その時回転レシーブがさかんでした。

合宿の時、私は背が低かったので、レシーブの練習をやらされ、回転だったので、起きあがると目が回り、吐き気がして夜のカレーが食べられなかったのを覚えています。丁度その時、大学生の研修生がコーチでおられ、夜、一人で本部校舎のソテツの所でギターをひいていたのが、夜空にひびいてとても印象的でした。今思うと、フォークのはしりの時の様な気がします。

背のせいにしてはいけません。ですが、続かず1年で部活はやめてしまいました。2年生の時、英語の穴吹先生のいわれた言葉に「自分の思っている事は、人に言わんといかんよ。人がチャンスを持つてきてくれるかもしれないからな。」があります。私はおしゃべりでもあるので、私の思い、夢などは友人によく語っていました。しかしあまりチャンスに恵まれはしませんでした。私は、うどんを打つのが好きでよく打っていたのですが、長い蕎麦は打てませんでした。常日頃長い蕎麦が打ちたいと言っていたところ、友人がある蕎麦屋が教室を持っているといつてくれ、早速門をたたきました。あれから6年、蕎麦修行をしています。まだまだ上手には打てませんが、友人、知人と呼んでは蕎麦を披露しています。

私の家は、山と田に囲まれ自然も味を加えています。季節でとれた食材を料理し、ツルツルと食べる蕎麦

は最高の贅沢です。還暦の時、同窓会をしました。第2の人生の始まりです。いろんなしがらみから解放され、皆が高校生の時の様な気持ちになり本当に今までにない楽しい同窓会になりました。

同じ時を、同じ場所で過ごした友と、私の打つ蕎麦で、同窓会を自然一杯の我家でやりたいのが、今の私の夢です。穴吹先生に感謝、そして蕎麦にも感謝です。

「娘との会話でよみがえる
当時の思い出」平成22年3月
家政科卒業

山本 美穂

私が南高の家政科を卒業し早いもので、もう約二十年が経ちました。そして思いがけず娘も同じ南高の家政科に入学しました。娘から技術検定の話などを聞くと、忘れかけていた当時の思い出がよみがえります。

当時は今よりクラスが多くて一学年十クラス以上あり、全校集会は生徒全員が体育館に入りきらないため、雪が降る日でも外で集会をしていました。今は生徒の数こそ減っていますが、懇談会等で学校に行くときと当時と変わらない校舎がとても懐かし、教室や実習室で友達と楽しく過ごした時間が目に浮かびます。